

令和6年度愛媛県産業教育振興会総会 教育長祝辞

令和6年7月5日（金）
にぎたつ会館

令和6年度愛媛県産業教育振興会総会が、盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。御出席の皆様方には、日頃から、本県の産業教育の振興に格別の御理解、御支援を賜っており、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、昨年度、県立高校を卒業した生徒の就職内定率は98.9%と、非常に高い水準となっており、県内企業への就職率についても、令和元年度から5年連続で80%を超える結果となりました。これもひとえに、本日御参集の皆様方の温かいお力添えの賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

さて、産業の担い手となる労働力人口は、全国的に減少傾向にあります。特に本県では、少子高齢化の進行に加え、県外への転出超過もあり、本県の労働力人口は、平成12年から令和2年までの20年間で、約8万人減少しました。また、この減少傾向は更に加速し、次の20年間では、約19万人減少すると推計されております。労働力人口の減少により、地域経済や産業の担い手が不足するほか、地域の活力が失われるなど、様々な課題が深刻化することが懸念される中、地域経済を将来にわたり維持・発展させるためには、地域への理解と愛着を持った産業人材の育成が不可欠であり、産業教育の充実は、益々重要性を増してくると考えております。

このため、県教育委員会では、小学校から高校までの12年間を通じたキャリア教育を実施する中で、高校段階においては、昨年度から、「ソーシャルチャレンジ for High school 事業」を実施しております。この事業では、全ての生徒が地域の企業や団体・大学等の協力のもと、地場産業の振興や環境保全、伝統文化の継承、賑わい創出等の地域課題に向き

合い、自ら解決策を研究し実践する活動を通して、地域や地場産業の魅力を知り、そこで活動する人々の実像に触れ、愛媛で働き暮らすことの意義を実感できる機会を拡充することにより、地域に愛着を持ち、地域社会で活躍できる人材の育成を図っております。

昨年度の取組を紹介いたしますと、今治北高校では、地元企業と連携して「今治タオル新商品企画コンペ」を開催し、川之石高校では、農福連携と産学連携による食品開発を通して6次産業化に取り組むなど、地元産業界や地域と連携・協働しながら、地域産業の発展や地域活性化等の現代社会の課題解決に向けた活動を実施しております。また、本事業の実施に伴い、各校の課題解決学習は益々充実・発展しており、その成果を披露するコンテストなどへエントリーする学校が増加するほか、多くの学校が全国規模のコンテストにおいて、輝かしい活躍を見せるなど、確かな成果も現れ始めたところです。

県教育委員会といたしましては、今後とも、地域や産業界との連携を一層深めながら、地域産業を担う人材の育成に努めて参りたいと考えておりますので、皆様方には、引き続き、本県の産業教育の発展に向けて御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県産業教育振興会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。